

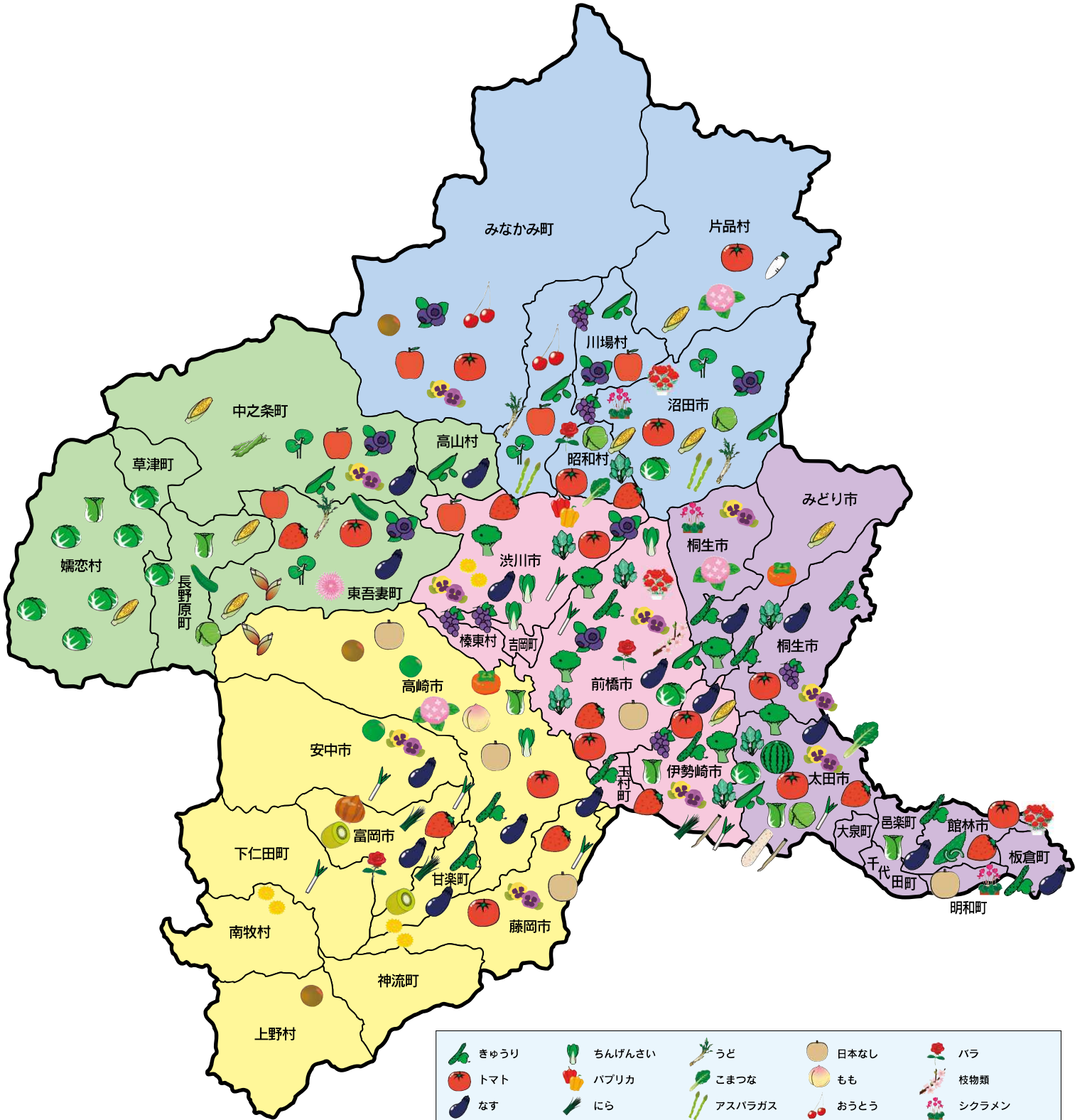


ぐんまの
園芸

2024



ぐんまの園芸産地マップ



きゅうり	ちんげんさい	うど	日本なし	バラ
トマト	パプリカ	こまつな	もも	枝物類
なす	にら	アスパラガス	おうとう	シクラメン
いちご	たまねぎ	すいか	かき	カーネーション
キャベツ	ズッキーニ	やまといも	うめ	アジサイ
ほうれんそう	スイートコーン	はくさい	すもも	花だん用苗
レタス	さやいんげん	にがうり	キウイフルーツ	
ねぎ	みょうが	ごほう	ブルーベリー	
ブロccoli	だいこん	りんご	スプレーギク	
えだまめ	ふき	ぶどう	コギク	

ぐんまの園芸について

群馬の農業生産状況

群馬県では、東京から100km圏という有利な立地と、標高10～1,400mに広がる耕地を活かして、多彩な農産物を生産しています。

園芸部門の農業産出額は、群馬県の農業産出額の4割強を占めており、畜産部門とともに群馬県農業の中核を担っています。

園芸部門には「野菜」、「果実」、「花き」があり、各推進計画に基づき、出荷量や品質の向上等を目的とした様々な取組を行っています。

表1 部門別農業産出額の推移
































(億円)

	区分	平成5年	10年	15年	20年	25年	30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	構成比
耕 園 芸	野菜	1,070	1,019	816	786	936	983	912	1,003	891	892	36.1%
	果実	78	98	96	96	85	83	83	80	79	72	2.9%
	花き	64	74	59	56	53	54	51	46	53	55	2.2%
		1,212	1,191	971	938	1,074	1,120	1,046	1,129	1,023	1,019	41.2%
種	米	310	218	224	191	162	166	156	152	110	126	5.1%
	麦類	90	58	68	21	13	12	12	13	15	17	0.7%
	工芸農作物	137	88	86	132	86	82	63	61	71	69	2.8%
	その他	45	36	26	24	19	26	25	27	26	24	1.0%
畜産	919	881	833	937	947	1,047	1,058	1,079	1,158	1,215	49.1%	
加工農産物	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	0.0%	
計		2,778	2,487	2,210	2,244	2,303	2,454	2,361	2,462	2,404	2,473	100%

※令和4年農業産出額は第1報の数値

(資料：農林水産省 生産農業所得統計)

表2 主な県産園芸農産物の全国順位（令和4年産出荷量）

1位					6位					
	ほうれんそう					ねぎ	ごぼう	こまつな	シクラメン	
2位					7位					
	キャベツ (夏秋キャベツは1位)	きゅうり	えだまめ	うめ		さやいんげん	りんご			
3位						8位				
	レタス	なす (夏秋なすは1位)	ふき				トマト	にら	みずな	おうとう
4位					9位					
	はくさい	スイートコーン	しゅんぎく	ブルーベリー		たまねぎ	かぼちゃ	すもも		
5位					10位					
	やまのいも	ちんげんさい	キウイフルーツ	ばら		だいこん	ブロッコリー			

(資料：農林水産省 作物統計調査)

※ブルーベリー-令和3年数値、おうとう、すももは令和2年数値

新鮮・多彩なぐんまの野菜

群馬の野菜生産状況について

群馬県は、恵まれた自然条件や立地条件を活かし、年間を通して多彩な野菜生産が行われており、全国上位の野菜生産県として、首都圏の重要な野菜供給産地となっています。

令和4年の野菜の産出額は、夏秋期の野菜価格の低迷等もありましたが、前年を上回る892億円で全国第6位を維持しました。出荷量では、ほうれんそうが3年連続日本一を達成しました。

群馬の野菜生産の強み

○標高差

標高10～1,400mに耕地が広がり、標高差を利用して様々な野菜が年間を通じて生産されています。利根沼田・吾妻地域の中山間地・高冷地では、夏の冷涼な気候を活かした野菜生産が盛んです。中部・西部・東部地域の平坦地では、露地野菜に加え、冬場の施設栽培も盛んです。

○首都圏に位置する地の利

群馬県は大消費地の100km圏内に位置しており、農産物の主な輸送路である高速道路網（関越・北関東自動車道等）も整備され、おいしい野菜を新鮮なうちに食卓に届けることができます。

○冬の日照時間が全国トップクラス

恵まれた気象条件、特に10月～3月の日照時間は全国第2位です（令和4年度）。陽光を十分に浴びて育ったみずみずしい野菜が出荷されます。

※気象庁HP 過去の気象データより集計

図1 野菜の産出額推移

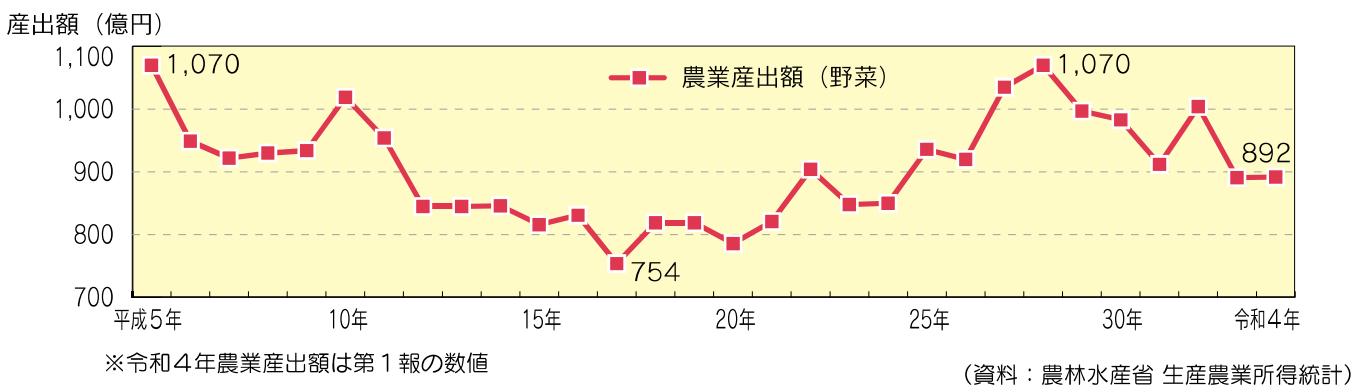
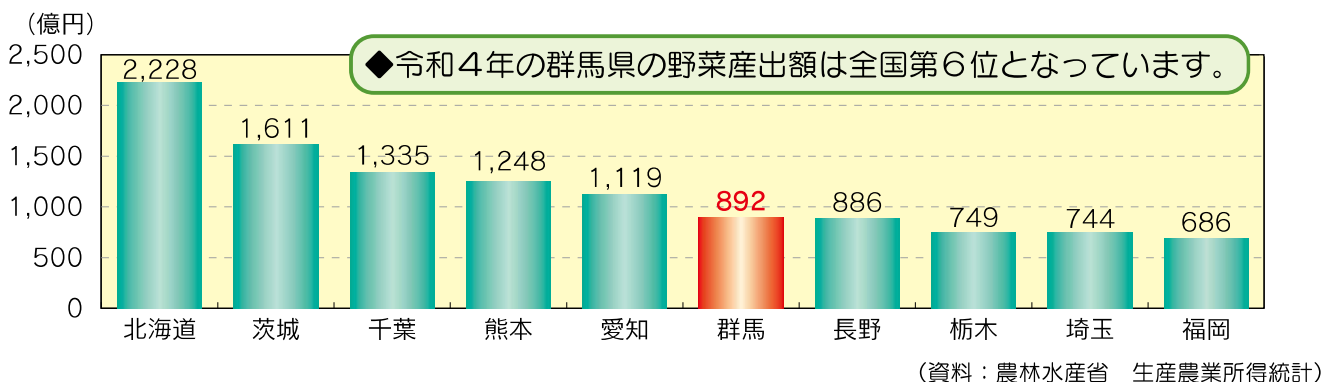


図2 農業産出額（野菜）の全国順位（令和4年）



品目別生産状況

表3 品目別出荷量・作付面積・収穫量・農業産出額（令和4年）

品目		出荷量 (t)		作付面積 (ha)		収穫量 (t)		農業産出額 (億円)
重点 8 品 目	きゅうり	50,000 (103)	2位	789 (100)	1位	55,800 (104)	2位	125
	トマト	20,000 (102)	8位	296 (97)	10位	21,600 (102)	9位	63
	なす	24,800 (106)	3位	524 (100)	1位	28,500 (104)	3位	73
	いちご	2,590 (100)	13位	95 (98)	16位	2,750 (100)	13位	31
	キャベツ	243,200 (97)	2位	4,280 (99)	2位	284,500 (97)	1位	156
	ほうれんそう	20,200 (104)	1位	1,990 (100)	1位	22,300 (104)	1位	83
	レタス	53,500 (104)	3位	1,380 (102)	3位	56,700 (104)	3位	44
	ねぎ	14,000 (99)	6位	941 (97)	5位	18,200 (99)	5位	39
	えだまめ	6,220 (97)	2位	1,070 (96)	5位	7,140 (97)	2位	47
	はくさい	20,800 (92)	4位	466 (100)	6位	27,000 (92)	3位	13
	スイートコーン	10,400 (102)	4位	1,190 (101)	4位	12,600 (102)	4位	23
	やまのいも	3,600 (91)	5位	390 (86)	4位	4,450 (87)	5位	26
	ごぼう	6,330 (94)	6位	375 (94)	6位	7,010 (94)	5位	11
	しゅんぎく	1,760 (96)	4位	113 (97)	5位	2,090 (96)	5位	12
	ちんげんさい	1,820 (98)	5位	129 (96)	3位	2,040 (98)	5位	4
	こまつな	6,000 (101)	6位	532 (100)	4位	6,700 (101)	5位	12
	にら	2,180 (90)	8位	146 (94)	6位	2,390 (90)	9位	12
	さやいんげん	769 (96)	7位	177 (102)	6位	1,180 (96)	7位	7
	だいこん	21,700 (94)	10位	726 (93)	11位	28,900 (88)	10位	28
	ブロッコリー	5,640 (104)	10位	627 (102)	10位	6,520 (104)	10位	12
	たまねぎ	8,130 (110)	9位	198 (103)	12位	8,930 (110)	9位	12

※出荷量・作付面積・収穫量は確報、農業産出額は第1報

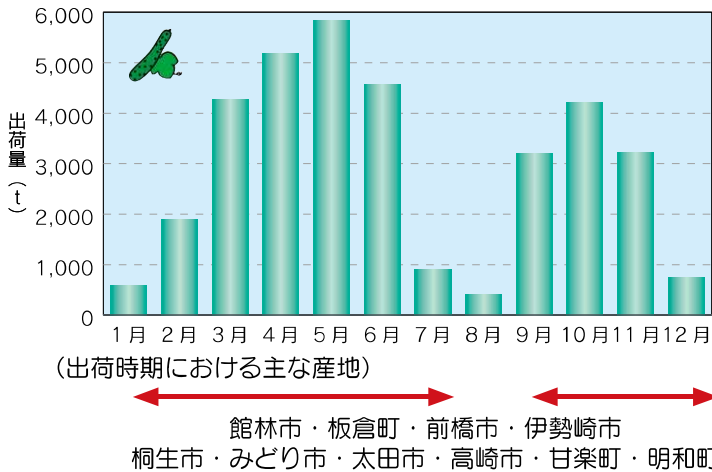
※出荷量・作付面積・収穫量の下段（ ）内は対前年比%、右列は全国順位

（資料：農林水産省 作物統計調査、生産農業所得統計）

県重点8品目について

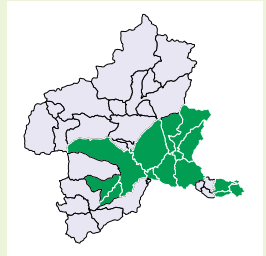
群馬県では、生産が盛んで基幹的な品目である「きゅうり」「トマト」「なす」「いちご」「キャベツ」「ほうれんそう」「レタス」「ねぎ」の8つを重点品目に位置づけ、戦略的に生産振興を図っています。

きゅうり

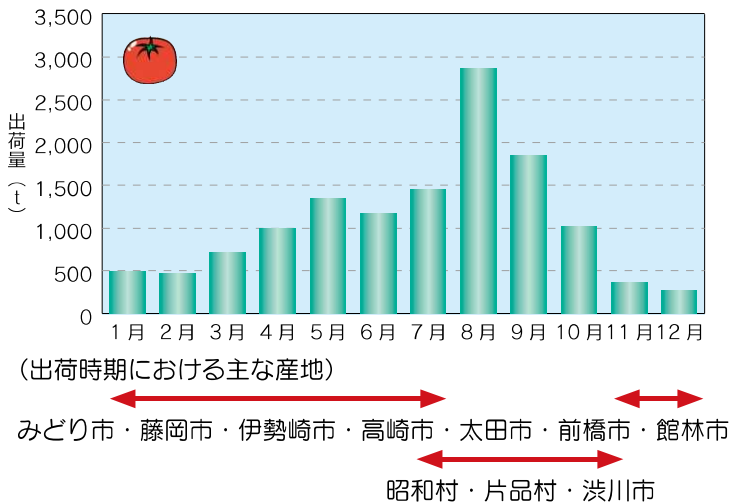


◇ハウスを利用して、促成（1～6月出荷）と抑制（9～11月出荷）の2作型を組み合わせた栽培が行われています。

◇平成19年から始まった県統一規格共計販売により、安定出荷と有利販売が行われています。

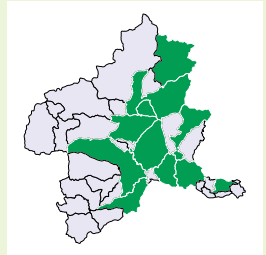


トマト

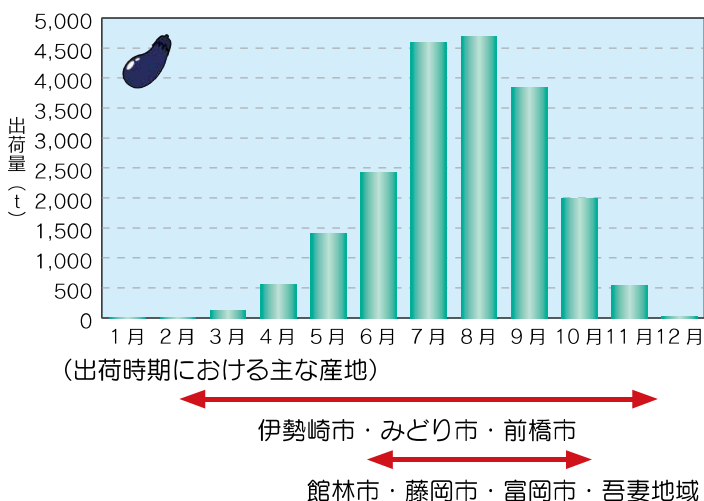


◇平坦地域でのハウス促成栽培（1～6月出荷）と、冷涼な中山間地域での雨よけ栽培（7～10月出荷）が行われています。

◇高糖度のフルーツトマトや加工向けの契約栽培など、特徴のある生産も行われています。

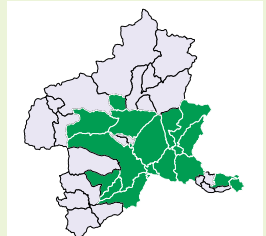


なす

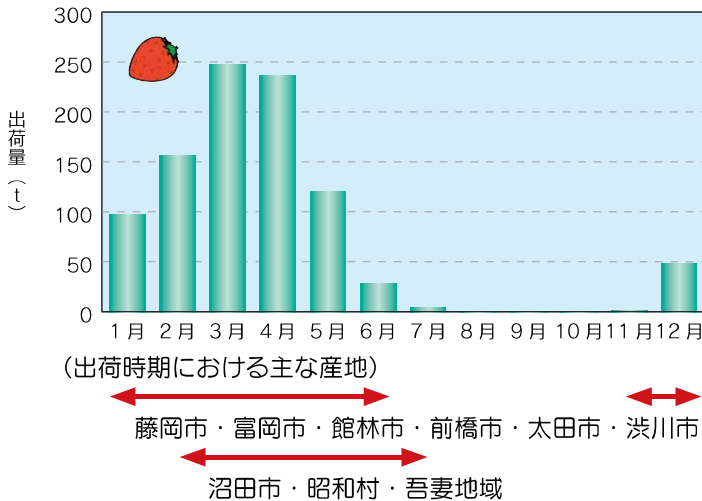


◇無加温ハウスを利用した半促成栽培（3～7月出荷）と、露地栽培（6～11月出荷）により、長期にわたり出荷されています。

◇露地栽培は、新規栽培者が取り組みやすい品目として新たな産地が形成されています。

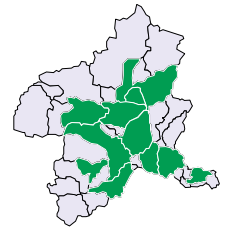


いちご

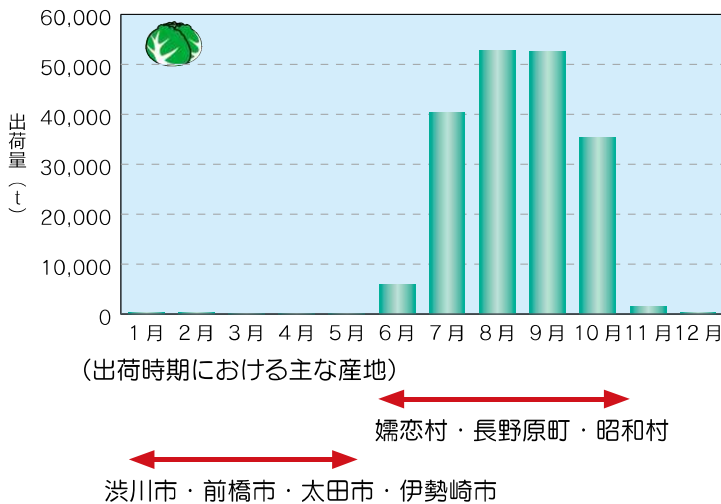


◇平坦地から中山間地まで広く施設栽培が行われ、12月から7月まで出荷されています。

◇県育成促成品種「やよいひめ」をはじめ、業務用需要が高い県育成半促成品種「おぜあかりん」等が栽培されています。

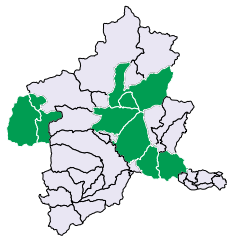


キャベツ

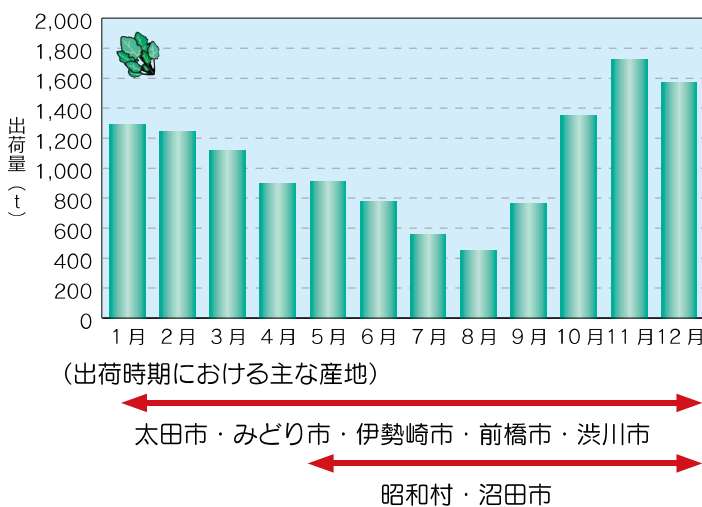


◇高冷地で生産される夏秋キャベツ（7～10月出荷）は、日本一の生産量を誇ります。冷涼な気候を活かした高品質なキャベツが生産されています。

◇冬春キャベツも、出荷量は少ないものの、平坦地を中心に、主に業務加工向けに栽培されています。



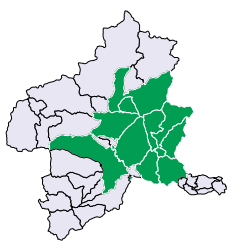
ほうれんそう



◇秋から冬（10～3月）にかけての出荷量が年間出荷量の約65%を占め、県内の平坦地から中山間地まで広く産地が形成されています。

◇雨よけハウスの周年栽培により、雇用を導入した企業的な大規模経営体が育成されています。

◇冬季（12月～2月）にはちぢみほうれんそうが平坦地を中心に栽培されており、甘みのある味わいが特徴です。



**YouTubeチャンネル「tsulunos」にて
野菜産地に関する情報発信**

ぐんまの
なす
産地紹介動画



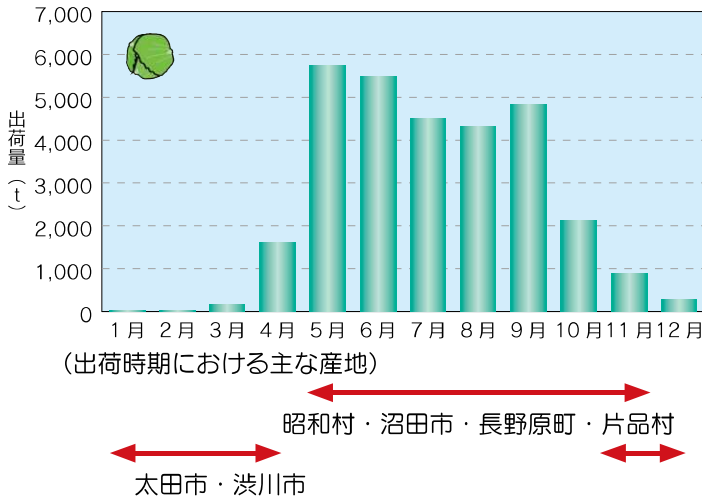
ぐんまの
キャベツ
産地紹介動画



ぐんまの
ほうれんそう
産地紹介動画

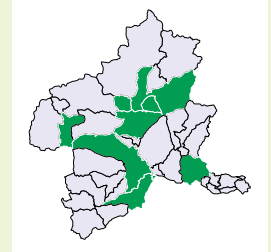


レタス

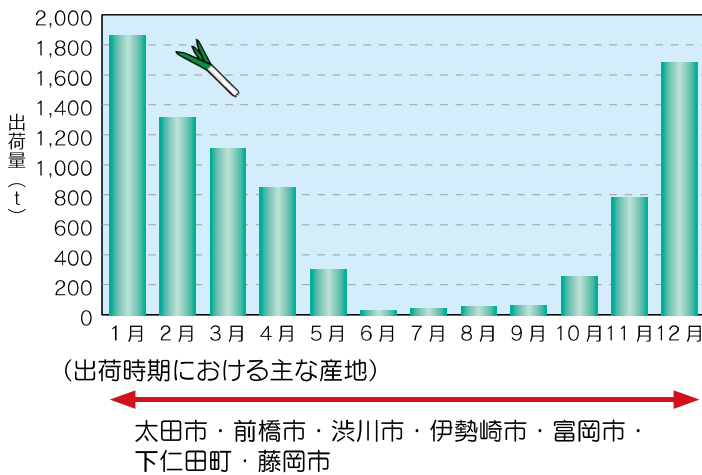


◇利根沼田地域の高冷地で生産される夏秋レタス（5～10月出荷）は、年間出荷量の約90%を占めています。

◇栽培管理の機械化により経営の大規模化が図られています。また、平坦地でも、業務加工向けの契約栽培が行われています。

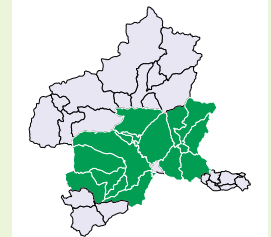


ねぎ



◇秋冬ねぎ（10～3月出荷）が年間出荷量の約85%を占めています。また、西部地域の下仁田ねぎは全国的にも有名です。

◇生産拡大が期待される品目として、各地域で積極的な生産振興が図られています。



地域推進品目について

重点品目以外にも、県内5地域ごとに、地域の特徴を活かして盛んな生産が行われている17品目を、地域推進品目として選定し、各地域で積極的に振興しています（表4）。

今後も『「野菜王国・ぐんま」推進計画2020』に基づき、重点品目、地域推進品目、県育成品種を中心に、地域の立地条件や生産環境を活かした特徴ある生産・販売により、戦略的な振興を行うとともに、産地間の連携を強化し、県内野菜の安定供給体制の確立を図ります。

表4 地域推進品目一覧

中部	前橋	ブロッコリー、えだまめ	吾妻	ズッキーニ、スイートコーン、さやいんげん、えだまめ、はくさい	
	渋川	ブロッコリー、ちんげんさい、パプリカ、ズッキーニ	利根沼田	だいこん、えだまめ、ふき、うど、こまつな	
西部	伊勢崎	ブロッコリー、えだまめ、にら、にがうり	東部	太田	すいか、やまといも、えだまめ、こまつな
	高崎	たまねぎ、ちんげんさい、ブロッコリー		桐生	ブロッコリー
	藤岡	たまねぎ、にがうり		館林	はくさい、にがうり
	富岡	たまねぎ、にら			

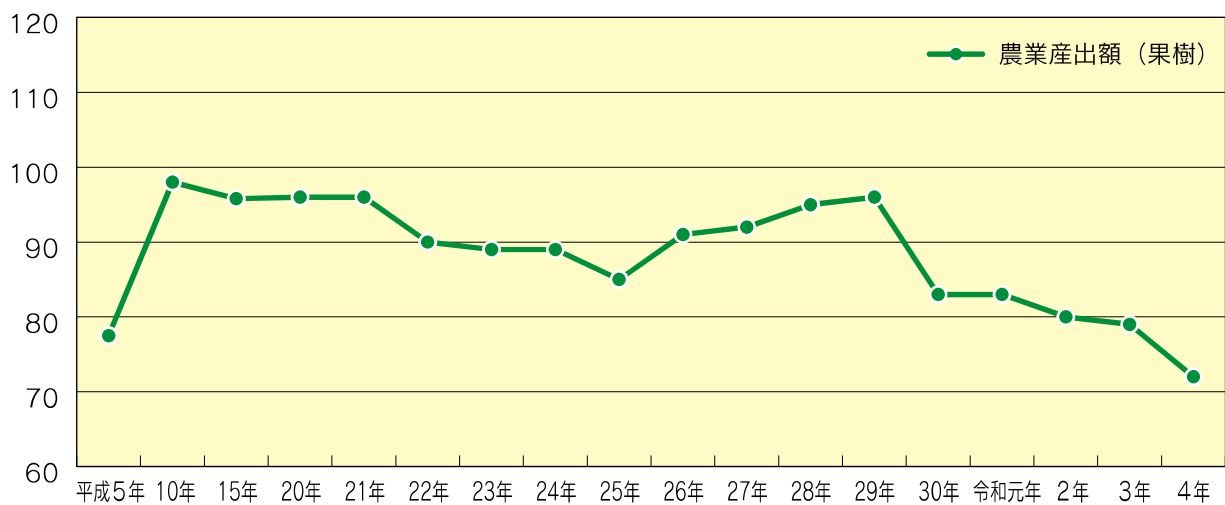
おいしいぐんまの果樹

群馬県では、自然条件を活かし、りんご、ぶどう、日本なし、もも、おうとう、かき、うめ、すもも、キウイフルーツ、ブルーベリー等の落葉果樹が主に栽培されており、令和4年の果樹産出額は72億円となっています（図3）。

「群馬県果樹農業振興計画」に基づき、「おいしいくだもの」づくりを基本に新産地の育成と既存産地の拡充強化を図り、技術レベルの高い特色ある「ぐんまの活力ある果樹産地」づくりを推進します。

図3 果樹の産出額推移

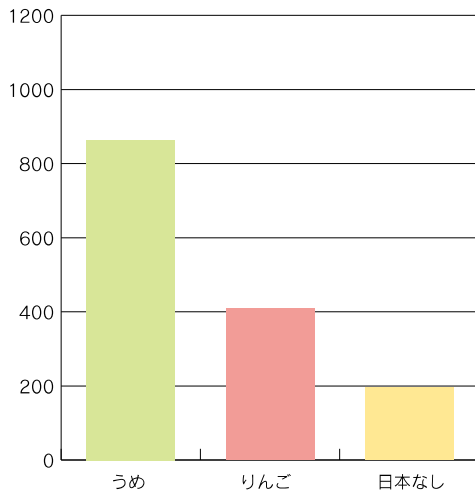
産出額（億円）



（資料：農林水産統計 生産農業所得統計）

図4 品目別作付面積（令和4年）

作付面積（ha）



（資料：農林水産統計 作物統計調査）

令和5年の話題

りんご「紅鶴」デビューイベント開催

平成28年に品種登録された県育成のりんご新品種「紅鶴」のデビューイベントを開催しました。また、県内の果樹園の情報を一覧で紹介するウェブサイト「味覚あふれるぐんまのくだもの園」やInstagram「群馬生まれのりんご「紅鶴」」で県内の果樹情報を発信しています。



「紅鶴」デビューイベントの様子



「味覚あふれる
ぐんまのくだもの園」



Instagram
「群馬生まれのりんご
「紅鶴」」

品目別生産状況

表5 品目別出荷量・作付面積・収穫量・農業産出額（令和4年）

品目		出荷量 (t)		作付面積 (ha)		収穫量 (t)		農業産出額 (億円)
主産地品目	りんご	7,200 (112)	7位	408 (97)	8位	7,740 (113)	7位	18
	ぶどう	1,050 (100)	25位	130 (100)	27位	1,080 (100)	25位	10
	日本なし	3,360 (91)	16位	195 (95)	15位	3,550 (94)	16位	9
	うめ	3,400 (64)	2位	863 (94)	2位	3,680 (64)	2位	16
	キウイフルーツ	757 (107)	5位	72 (99)	7位	828 (100)	5位	3
主産地外品目	もも	435 (100)	18位	56 (100)	18位	458 (100)	18位	2
	おうとう	77 (100)	8位	40 (100)	9位	87 (100)	8位	4
	かき	1,010 (100)	23位	155 (100)	30位	1,110 (100)	26位	2
	くり	228 (100)	14位	191 (100)	23位	252 (100)	17位	1
	すもも	346 (100)	9位	45 (100)	10位	373 (100)	9位	2
県主要品目	ブルーベリー	103 (85)	4位	77 (96)	3位	231 (93)	4位	4
	いちじく	19 (91)	25位	5 (93)	22位	31 (100)	22位	—

※出荷量・作付面積・収穫量は確報、農業産出額は第1報

(資料：農林水産省 作物統計調査、生産農業所得統計)

※出荷量・作付面積・収穫量の下段()内は対前年比%、右列は全国順位

※出荷量・作付面積・収穫量は、りんご、日本なし、うめ、キウイフルーツ以外は、令和2年数値、ブルーベリー、いちじくは令和3年数値

※「主産地品目」「主産地外品目」「県主要品目」は、県で作成した群馬県果樹農業振興計画に基づき区分

群馬の果樹生産の強み

○標高差

長い日照時間や標高差に富んだ地形等恵まれた自然条件を生かし、中山間地域から平坦地まで地域の特性に応じた特色ある果樹産地が形成されています。

○首都圏に位置する地の利

販売形態は品目や産地の実情によって二分化されており、首都圏近郊の観光客をターゲットとした観光直売と大消費地の100km圏内に位置する地の利を生かした市場出荷が行われています。

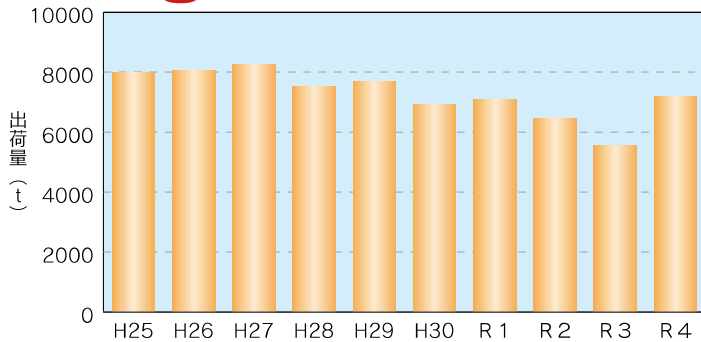
○多様な県育成品種の導入と高品質な果実の生産

りんご、ブルーベリーなど県で育成した品種が多数導入されており、高品質で良食味の果実が生産されています。

県重点品目について

群馬県では、生産が盛んな品目である「りんご」「ぶどう」「日本なし」「うめ」「キウイフルーツ」「もも」「おうとう」「かき」「くり」「すもも」「ブルーベリー」「いちじく」を重点品目に位置づけ、戦略的に生産振興を図っています。

りんご



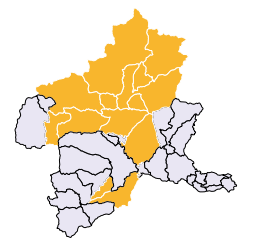
(主な産地)

片品村・川場村・渋川市・昭和村・中之条町・沼田市・東吾妻町・みなかみ町

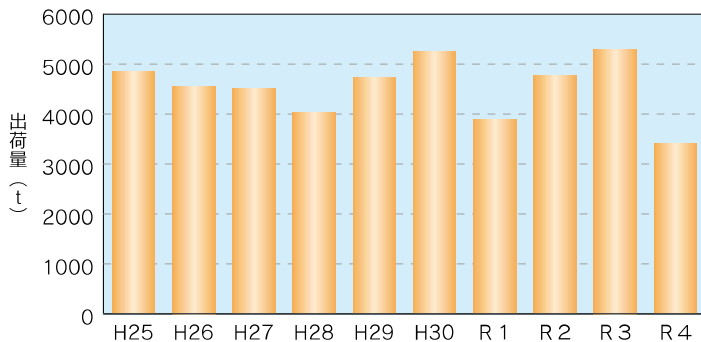


◇古くからもぎとりや直売等の観光直売が行われ、観光農業の中心として定着しています。

◇利根沼田地域、渋川市、吾妻地域を中心に栽培されています。また、9月～12月まで県育成品種を中心とした品種リレーを楽しむことができます。



うめ



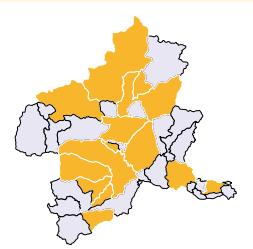
(主な産地)

安中市・渋川市・高崎市・前橋市・川場村

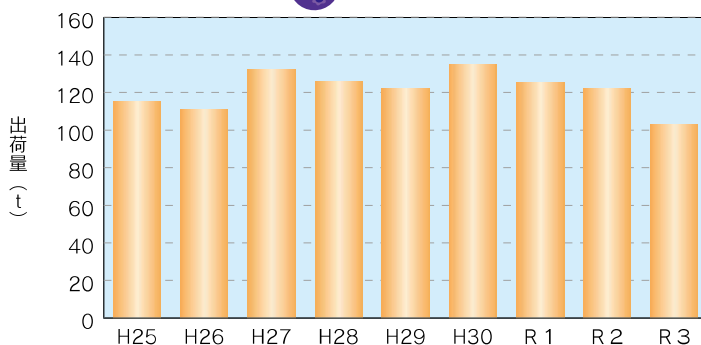


◇「白加賀」の栽培面積が全国1位で、青梅として市場出荷して有利販売につなげています。

◇高崎市、安中市を中心に県内全域で栽培されており、省力果樹としても重要な品目となっています。



ブルーベリー



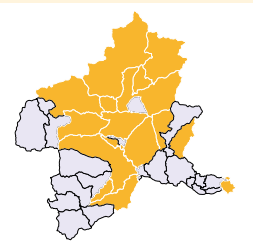
(主な産地)

片品村・川場村・渋川市・沼田市・中之条町・前橋市・みなかみ町



◇もぎとりや直売主体に販売しています。また、市場出荷にも取り組んでおり、市場からも高い評価を得ています。

◇川場村、沼田市、渋川市を主産地として県全域で栽培されています。全国で唯一、都道府県育成品種があります。



色あざやかな群馬の花

群馬県では、冬季の恵まれた日照条件や標高差のある自然条件により、各地でバラエティに富んだ花きが生産されています。主な品目は、キク類（コギク、スプレーギク、輪ギク）、バラ、トルコギキョウ、枝物類、シクラメン、カーネーション、アジサイ、洋ラン類、花壇用苗などです。令和4年の作付面積は、切花類が209ha、鉢物類が40ha、花壇用苗物が41.5ha、花き産出額は55億円となっています。県産花きの生産振興は「群馬県花き振興計画」に基づき関係者連携の下、推進しています。

県HP



切り花類

キク類



輪ギク



コギク

スプレーギクは吾妻・利根沼田などの北毛に産地がある。コギクは群馬県で育成した品種。小夏シリーズも市場評価が高い。8～9月の盆彼岸を中心に、施設栽培では周年出荷する事例も。



バラ

前橋市、富岡市、昭和村に産地があり、出荷量が全国5位。全国品評会での入賞多数。周年出荷。



トルコギキョウ

豪華さと花もちで人気の切り花。夏場は標高の高い昭和村等、冬場は平坦地の館林や富岡市、板倉町を中心に作付されている。産地リレーで周年出荷。

鉢花類

シクラメン



東部地域を中心に県内各地で生産。出荷量では全国第6位だが、比較的大鉢の高品質なギフト用が多い。11～12月出荷。



カーネーション

母の日ギフトの定番。赤・ピンクの他黄色や覆輪など珍しい品種も。板倉町や明和町などの東部地域を中心に県内で作付。5月中心の出荷。

アジサイ

こちらも母の日に人気の豪華な鉢物アジサイ。東部地域を中心に県内各地で生産。生産者育種も盛んで、群馬にしかない品種も多数。4月下旬～6月に出荷。



枝物類



ハナモモ



スモークツリー

ハナモモやヤナギ類、ミスキ類など、季節を感じる枝物が前橋市、中之条町、渋川市等中山間地で作付されている。品目にもよるが春と秋の出荷が多い。

花壇用苗類



ハボタジ



マリゴールド

パンジー、ピオラ、ハボタンやニチニチソウなど多種多様な花壇用苗物が、県内各地で生産されている。生産者育種もさかん。出荷量全国12位。春と秋に出荷ピーク。

資料：農林水産省「令和4年産花きの作付（収穫）面積及び出荷量」

ぐんまの花 その他の品目・品種

ぐんまの花は、主要品目以外にも、バリエーション豊か！珍しい花がたくさんあります。
例えば、自然な風合いが楽しめる宿根草類（エリンジウム、ワレモコウ、等々）や、夏も爽やかな風が流れる山間部では切り花アジサイ、紅葉物の枝物、実物なども人気です。

さらに、鉢物ではアジサイやシクラメン・苗物では生産者の育種した珍しい品種や、色の鮮やかさで人気のエラチオールベゴニア、大切なギフトに欠かせない洋ラン類などもあります。

宿根草類



エリンジウム



アストランティア



ワレモコウ

中之条町六合地区や片品村、南牧村などの山間地を中心に、珍しい宿根草類の産地があり、100を超える種類が生産されている。出荷は夏秋時期が主。

切り花アジサイ



グリーンシアナベル



秋色ミナツキ

片品村、南牧村などの山間地では、切り花アジサイも盛ん。特に片品の秋色アジサイは、鮮やかな色づきで人気の花。秋色ミナツキは、フラワーオブサイヤーOTA2023最優秀賞受賞。出荷は8～10月。

洋ラン類



コチョウラン

シンビジウムやカトレア、コチョウランなども県内で生産。全国品評会で入賞することも多い。出荷は真夏を除く周年。



カトレア



シンビジウム

エラチオールベゴニア



赤や黄色といった鮮やかな色合いのエラチオールベゴニア。八重品種はバラのようで人気。出荷は真夏を除く周年。

生産者による 育成品種

県内では、アジサイ、シクラメン、花壇苗などで生産者自身による品種育成が盛ん。

育成品種
パンフレット



ピオラ



アジサイ



オステオスペルマム



ルクリア

ぐんまの花 知られざる魅力を伝えるPR

ぐんまの花の魅力は、全国の大産地に比べるとまだまだ知られていません。そこで、消費者に向けてその魅力が伝わるよう、群馬県では様々なプロモーション活動を行っています。

例えば、花を公共の場に展示したり、フラワーアレンジ教室や作品コンテストを開催することで、実際に生花に接する楽しみ方をお伝えしています。HANA GUNMAをキーワードにしたロゴやイメージ映像（キービジュアル）の作成や、産地と協力して花き動画を撮影し、県公式YouTubeチャンネルtsulunosに掲載しています。

フラワーアレンジコンテスト



県産花きを活かした
アレンジ作品の展示
(高校生アレンジコンテスト)



高校生など若年層に向けたフラワーレッスン

フラワーアレンジ体験教室



県産花きを取り入れたフラワーアレンジ体験は幅広い世代に人気！



冬の鉢花シクラメンの
寄せ植え提案、品種展示



県産花き動画

県内花き産地と協力して、産地や品目の紹介、花の育て方の動画を作成し情報発信。



群馬県育成品種の紹介

群馬県農業技術センターで開発された品種の一部をご紹介します！
このほかにも、様々な品種が育成され、県内での生産振興が図られています。

いちご「やよいひめ」

平成17年1月品種登録。果実が大粒でしっかりしていて日持ちが良い、糖度と酸度のバランスが良く食味が優れる、上品な鮮紅色などの特徴があり、他品種の品質が低下する3月（弥生）以降も安定した品質を保てるのもセールスポイントです。

県内の品種別作付シェアは8割に達し、群馬県を代表する品種となっています。



いちご「おぜあかりん」

平成23年5月品種登録。果実がしっかりしていて日持ちが良い、食味が良い、光沢ある濃い赤色などの特徴があります。中山間地である利根沼田地域で、3月下旬から7月中旬の初夏まで収穫できることが大きな特徴です。

りんご「紅鶴」

平成28年8月品種登録。きれいな濃赤色で美しい外観と濃厚な味わい、シャキシャキとした食感が特徴の期待の新品種です。既存の県育成品種「あかぎ」と「陽光」の端境期である10月上中旬に収穫期をむかえます。新品種の為、希少な品種となっていますが、これから生産量が増えるように振興を図っていきます。



うめ「群馬U6号」(商標：ゆみまる)

令和2年11月19日（群馬U6号）として品種登録。令和4年3月23日「ゆみまる」として商標登録。収穫期は青梅の場合6月上旬、梅干し加工用の場合は6月中旬です。



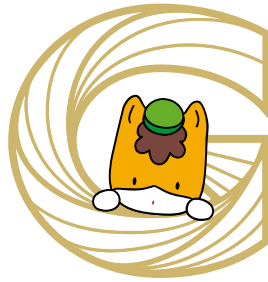
自家結実性があり豊産性で、本県の主力品種「白加賀」の生産を安定化させる受粉樹としても期待されます。平成30年度から苗木の配布が開始されました。

コギク「小夏の恋」

令和2年3月品種登録。明るい赤紫色で、スリムな草姿が特徴です。



「小夏の風」等と同様、県内の平坦地～300m地域であれば、開花調節しなくても、お盆向けに出荷できます。



**GUNMA
QUALITY**



お問い合わせ先

群馬県農政部蚕糸園芸課

電話：027-226-3124 FAX：027-243-7202

発行：令和6年2月